

次回展のご案内

日本近代の絵画・彫刻・工芸

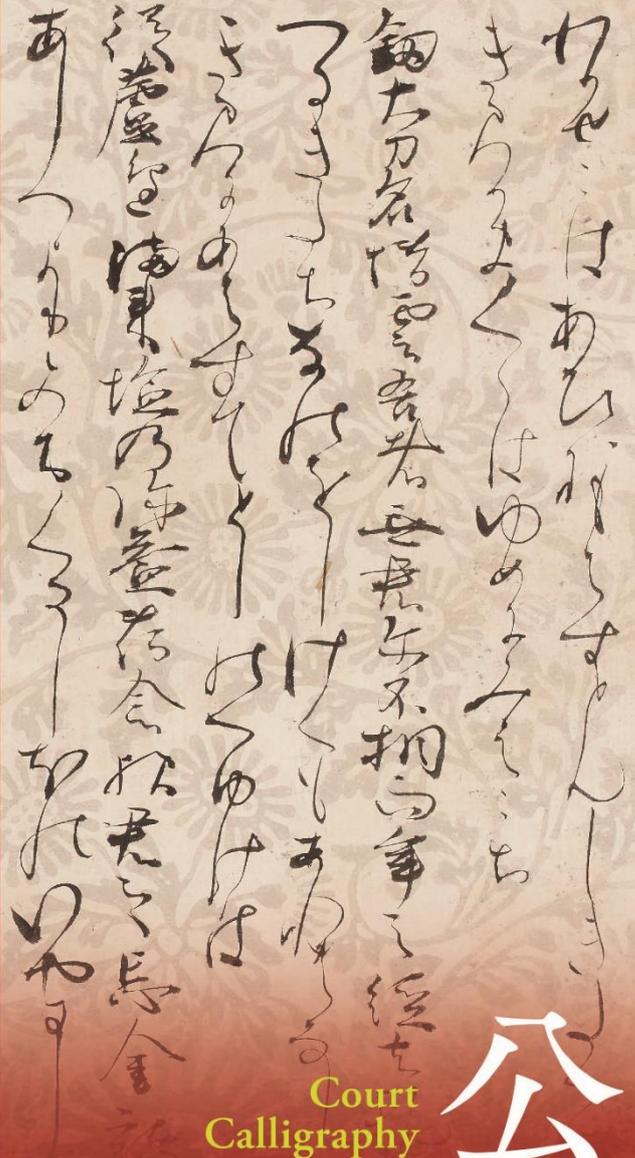
皇室の美術振興

Imperial Patronage of the Arts

Modern Japanese Painting, Sculpture & Decorative Arts

[展示室1]

この秋、尚蔵館で「書の優品」と「御買上」の近代美術が競演！



Court Calligraphy

Celebrated Manuscripts by Legendary Calligraphers

[展示室2]

公家の書

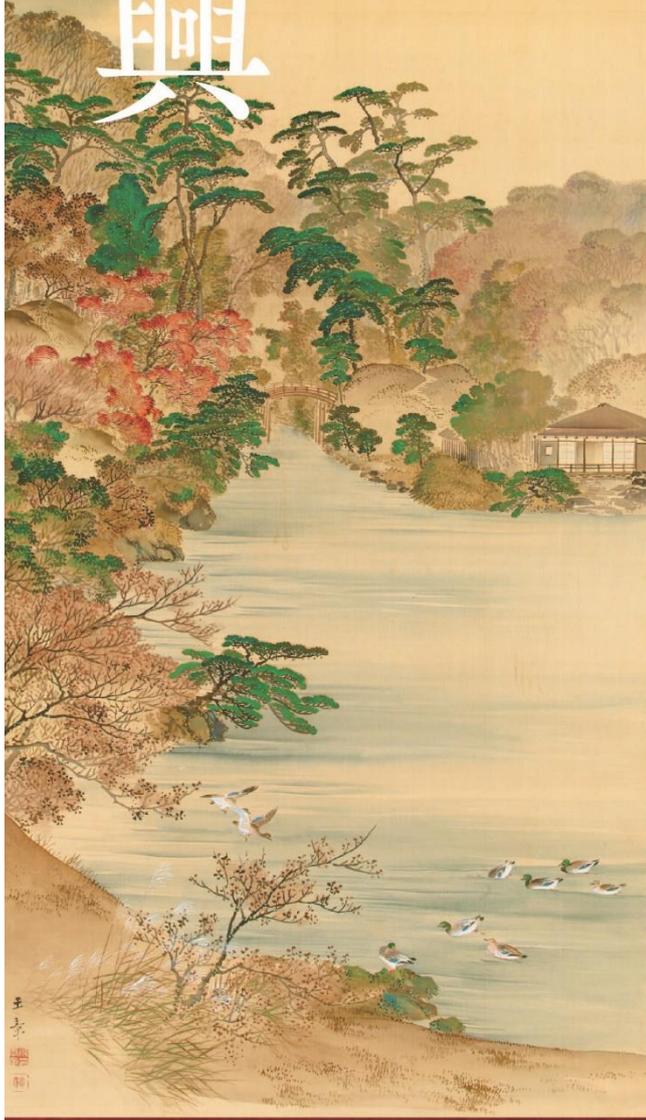
古筆・絵巻・古文書

令和6年

10月29日[火]

12月22日[日]

図文 金沢本万葉集 巻第四(部分) 藤原定信
平安時代(12世紀)
【前期巻第二・後期巻第四 各期頁数あり】



洞窟宮春秋図(部分) 川端玉章 明治15年(1882) 【前期展示】

休館日：月曜日、11/5(火)※11/4(月)休日は開館
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※11/19(土)は年末年始期間
※11/20(日)は年末年始期間
※11/21(月)は年末年始期間
※11/22(火)は年末年始期間
【入館料】一般 1,000円・大学生 500円
※障子・襦袢・袴・足袋・草履・草履・草履の修理料
※障子・襦袢・袴・足袋・草履・草履の修理料
※電話 050-5541-8600(09:00～18:00)

October 29 – December 22, 2024

*Some exhibits will be changed during the exhibition period.

The Museum of the Imperial Collections,
Sannomaru Shozokan

皇居三の丸尚蔵館



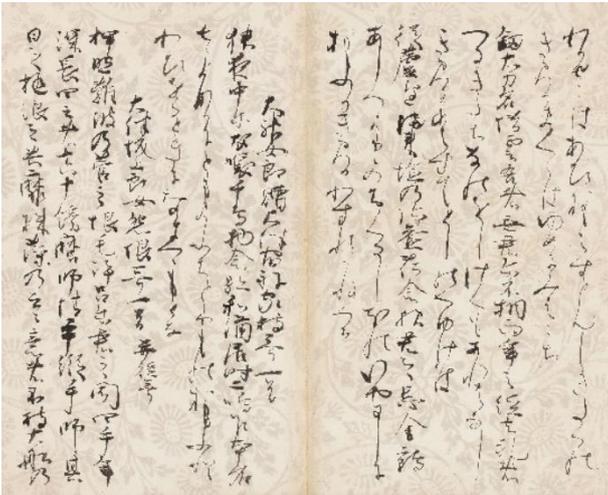
Website
<https://shozokan.nich.go.jp/>



Tickets
<https://www.e-tix.jp/shozokan/>

この秋、皇居三の丸尚蔵館で“書の優品”と“御買上”^{おかいあげ}の近代美術が競演!

展覧会「公家の書－古筆・絵巻・古文書」 開催趣旨



公家とは本来、朝廷の官人の総称でしたが、後には天皇をとりまく上層の廷臣、貴族を指す言葉となりました。平安時代以降、藤原摂関家を中心に形成され、独特な風俗・習慣が生まれます。公家の社会で必要とされた教養のひとつが和漢の典籍や詠歌、そして書でした。本展では、公家たちが美しさを求めた名品とともに、実務で作成した書状や文書を紹介します。共通点や目的による違いをお楽しみください。

広報画像 A-1 国宝《^{かなざわほんまんようしゅう}金沢本万葉集》^{ふじわらのさだのぶ}巻第四 藤原定信

平安時代(12世紀)【前期巻第二・後期巻第四 各期頁替あり】

展覧会「皇室の美術振興－日本近代の絵画・彫刻・工芸」 開催趣旨

近代以降の皇室は和歌や雅楽などの伝統文化の継承とともに、美術の発展にも努めてきました。本展では、明治から昭和にかけて日本国内で開催された博覧会や展覧会に出品され、皇室による御買上を受けた絵画、彫刻、工芸のなかから、秋の季節を感じさせる作品を中心に紹介します。当時の美術の多彩な様相とともに、近代の皇室が果たした美術振興の一端をご覧ください。



広報画像 B-1

《^{いなほ くんじやくず かびん}稲穂に群雀図花瓶》 一對のうち

^{なみかわそうすけ}瀧川惣助、^{いづみぼいいつ}絵付: 泉梅一 明治14年(1881)

第2回内国勧業博覧会にて御買上【通期展示】

展覧会の見どころ

1. 展覧会「公家の書－古筆・絵巻・古文書」では、平安時代から江戸時代まで、禁裏(皇室)を支えた続けた公家(貴族)たちが書き写した古筆の名品とともに、朝廷の^{まつりごと}政の実務として作成した古文書や書状等、公家の書のもつ多彩な面が味わえます。
2. 同展では、現存する日本最古の歌集『万葉集』を平安時代に書写した国宝《^{かなざわほんまんようしゅう}金沢本万葉集》(前期巻第二・後期巻第四 各期頁替あり)と、鎌倉時代の絵巻の傑作で中世やまと絵を代表する国宝《^{かすが}春日権現験記絵》(前期展示)を公開!
3. 展覧会「皇室の美術振興－日本近代の絵画・彫刻・工芸」では、明治から昭和にかけて、皇室により博覧会や展覧会で御買上となった作品が登場します。各作家の代表作や出世作など優品ぞろいです。開催時期に合わせて、秋をテーマにした作品が多いのも本展の見どころです。
4. 同展では、^{おおたきじろう}太田喜二郎《^{なみきみち}並木道》を宮内省が買上げ後、初公開。大正3年(1914)の東京大正博覧会に出品されて以来、110年ぶりの公開です。

開催概要

名 称	公家の書－古筆・絵巻・古文書／皇室の美術振興－日本近代の絵画・彫刻・工芸 Court Calligraphy: Celebrated Manuscripts by Legendary Calligraphers Imperial Patronage of the Arts: Modern Japanese Painting, Sculpture & Decorative Arts
会 期	2024年10月29日(火)～12月22日(日) 前期:10月29日(火)～11月24日(日) 後期:11月26日(火)～12月22日(日)
休 館 日	月曜日(ただし11月4日は開館し、翌火曜日休館) ※その他諸事情により臨時に休館する場合があります
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※ただし10月29日(火)は午後1時開館 毎週金曜・土曜は夜間開館。午後8時まで開館。(入館は午後7時30分まで) ※ただし11月29日(金)を除く
入 館 料	一般 1,000円、大学生 500円 ※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、運転免許証、マイナンバーカードなど)をご提示ください。 ※障がい者手帳をお持ちの方およびその介護者1名は無料(予約不要)。
作 品 件 数	公家の書－古筆・絵巻・古文書:13件 皇室の美術振興－日本近代の絵画・彫刻・工芸:25件 ※出品作品は全て皇居三の丸尚蔵館収蔵
主 催	皇居三の丸尚蔵館
会 場	公家の書－古筆・絵巻・古文書:皇居三の丸尚蔵館 展示室2 皇室の美術振興－日本近代の絵画・彫刻・工芸:皇居三の丸尚蔵館 展示室1 (〒100-0001 東京都千代田区千代田1-8 皇居東御苑内)
ウェブサイト S N S	[皇居三の丸尚蔵館ウェブサイト] https://shozokan.nich.go.jp/ [公式 Instagram] https://www.instagram.com/shozokan_pr/ アカウント名 @shozokan_pr
お問い合わせ	050-5541-8600(ハローダイヤル)
<p>【報道に関するお問い合わせ】</p> <p>皇居三の丸尚蔵館広報事務局(共同PR内) 担当:三井 〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10階 TEL: 03-6264-2382 E-mail: shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp</p>	

皇居三の丸尚蔵館^{しょうぞうかん}について

平成元年(1989)に上皇陛下^{こうじゆん}と香淳皇后により、皇室に代々受け継がれた美術品が国に寄贈されたことを機に、その保存と研究、公開を目的として、平成5年(1993)11月に皇居東御苑^{ひかしぎょえん}内に開館しました。

収蔵品は、各時代を代表する名品が多く含まれており、日本を中心とする東洋の美術工芸品のほか、幅広い時代、地域、分野の品々がみられることが特長です。

施設の拡充をはかり令和元年(2019)からは、新館の建設が進められています。令和5年(2023)には管理・運営が宮内庁から独立行政法人国立文化財機構へ移管され、「皇居三の丸尚蔵館」と名称も新たに一部を開館しました。令和8年(2026)度に全館開館を予定しています。



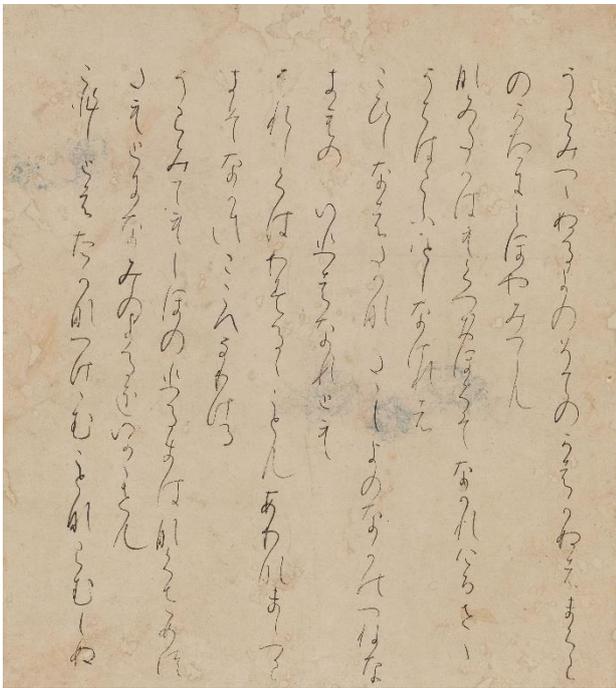
皇居三の丸尚蔵館 外観

主な展示作品 公家の書—古筆・絵巻・古文書



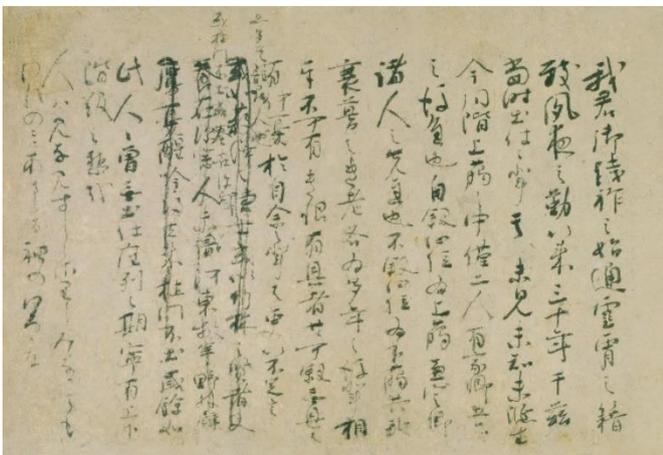
鎌倉時代“最強の公家”西園寺家の栄光を今に伝える

かすがごんげんげんきえ たかしなたかかね いちじょういんりょうしん
広報画像 A-2 国宝《春日権現験記絵》卷十七(部分) 高階隆兼 絵・一乗院良信 詞 鎌倉時代 延慶2年(1309)頃
 【展示期間:10/29~11/24、巻替あり】



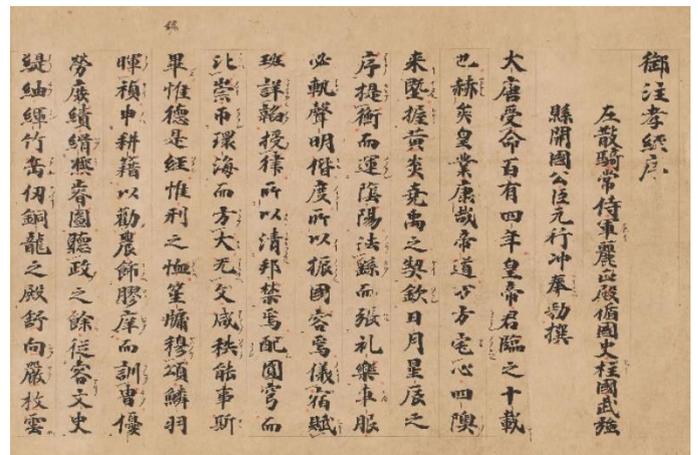
清少納言の曾祖父(歌人・清原深養父)が詠んだ恋の歌

ふかや ぶしゅうだんかん めいかかしゅうぎれ きのつらゆき
広報画像 A-3 《深養父集断簡(名家集切)》伝 紀貫之
 平安時代(11世紀) 【展示期間:10/29~11/24】



歌人・定家も抱いた昇進への執念

きぶんそうあん ふじわらのさだいえ
広報画像 A-4 《記文章案》藤原定家 鎌倉時代(13世紀)
 【展示期間:10/29~11/24】



古典籍の書写は未来につながる公家の本領

ぎやちゆうこうきよう さんじょうにしさねたか
広報画像 A-5 《御注孝経》(部分) 三条西実隆
 室町時代 享禄4年(1531) 【展示期間:11/26~12/22、巻替あり】

主な展示作品 皇室の美術振興－日本近代の絵画・彫刻・工芸



画家の道^{ひら}を拓いた大作

広報画像 B-2

《孔雀図》^{くじゃくず} 荒木寛畝^{あらかんぼ} 明治 23 年(1890)

第 3 回内国勸業博覧会にて御買上

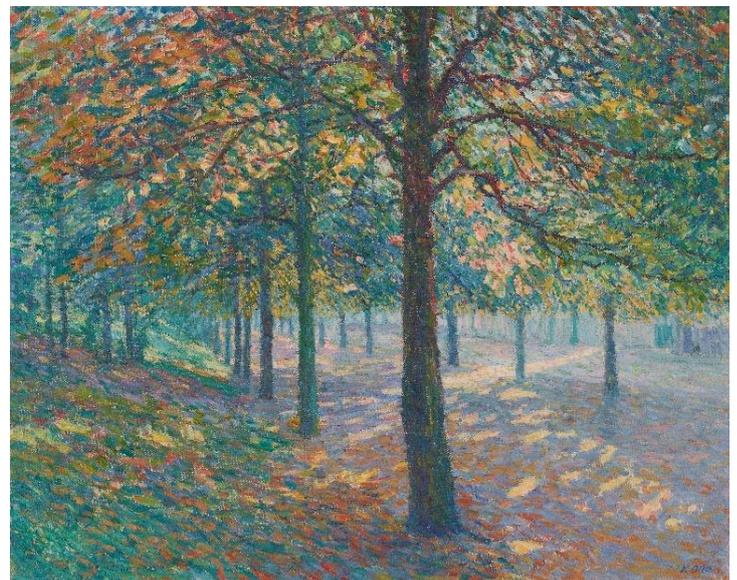
【展示期間:11/26～12/22】



精緻^{せいち}を極めた牙彫^{げちよう}の傑作

広報画像 B-3 《官女置物》^{かんじょおきもの} 旭玉山^{あさひぎょくざん} 明治 34 年(1901)

日本美術協会美術展覧会にて御買上 【展示期間:10/29～11/24】



ベルギー仕込みの印象派

大正 3 年(1914)以来、110 年ぶりに公開

広報画像 B-4 《並木道》^{なみきみち} 太田喜二郎^{おたきじろう} 大正 3 年(1914)

東京大正博覧会にて御買上 【通期展示】



美しき信州の山に魅せられて

広報画像 B-5 《秋晴》(左隻)^{あきばれ} 池上秀畝^{いけがみしゅうほ} 大正 4 年(1915) 文部省第 9 回美術展覧会にて御買上 【展示期間:10/29～11/24】

※出品作品は全て皇居三の丸尚蔵館収蔵